

しねんごうだいもくいたび  
「私年号題目板碑」

松伏町指定有形文化財(歴史資料)  
令和3年7月21日指定

板碑とは、鎌倉時代から室町時代に集中して作られた供養のための石碑のことで、現在の卒塔婆につながるものです。また、題目とは日蓮宗で唱える「南無妙法蓮華経」の七字のことで、題目板碑とはこの七字が刻まれた板碑のことを指します。

地域や施設などで独自に用いた特殊な年号を私年号といい、この板碑には「命禄3年」と刻まれています。これは公年号では天文11年(1542)に該当します。命禄銘の板碑は県内にも3例しかなく、ほとんど破損のないものとして大変貴重です。



大日天王	鬼子母神	為妙信尼
南無妙法蓮華経	法主大聖人	
大月天王	十羅刹女	命禄三年
正月廿二日	寅	壬